

2023 春季生活闘争 最終結果

2023年7月31日集計

1. 賃金引上げ

- 回答を引き出した組合は、平均賃金方式、個別賃金方式合わせて、118組合、22,924人。
- 賃上げ妥結状況は、平均賃金方式で妥結額(組合員数加重平均)は8,020円、3.07%であり、昨年最終期を金額で3,734円、引上げ率で1.38ポイント上回る結果となった。
- 組合員300人未満の中小組合の平均妥結額では、8,089円、3.32%、300人以上の組合は7,957円、2.97%となり、300人未満の組合が昨年度を3,894円上回り、300人以上の組合も昨年度を3,559円上回った。
- 個別賃金方式では、A方式の妥結額が3,287円となり、昨年最終期を2,121円上回った。

(1) 平均賃金方式(組合員数による加重平均)

平均賃金方式	2023回答(2023年7月31日最終)			昨年対比	2022回答(2022年7月31日最終)		
	集計組合数 集計組合員数	引上げ額	引上げ率		集計組合数 集計組合員数	引上げ額	引上げ率
全体	90組合 15,947人	8,020円	3.07%	3,734円 1.38ポイント	75組合 14,870人	4,286円	1.69%
300人未満	78組合 7,651人	8,089円	3.32%	3,894円 1.59ポイント	60組合 5,000人	4,195円	1.73%
300人以上	12組合 8,296人	7,957円	2.97%	3,559円 1.29ポイント	15組合 9,870人	4,398円	1.68%

(2) 個別賃金方式(組合数による単純平均)

個別賃金方式	2023回答(2023年7月31日最終)			昨年対比	2022回答(2022年7月31日最終)		
	集計組合数 集計組合員数	引上げ額	引上げ率		集計組合数 集計組合員数	引上げ額	引上げ率
A方式 (純ベア)	27組合 6,677人	3,287円	1.42%	2,121円 1.04ポイント	27組合 6,511人	1,166円	0.38%
B方式 (定昇込み)	1組合 300人	賃金体系維持	—	—	0組合 0人	—	—

※注

A方式:特定した労働者の前年度の水準に対して、新年度該当する労働者の賃金をいくら引き上げるか交渉する方式。この部分を連合は「純ベア」と定義した。

B方式:特定する労働者の前年度の賃金に対し、新年度(勤続と年齢がそれぞれ1年増加)いくら引き上げるか交渉する方式。

2. 一時金

- 年間の月数加重平均が3.83ヶ月、金額で1,325,538円となり、昨年度と比較して、月数で0.57ヶ月下回り、金額で172,949円上回った。
- 季別の月数加重平均が1.96ヶ月、金額で347,130円となり、昨年度と比較して、月数で0.28月、金額で84,653円上回った。
- 業績連動算定方式・非公開で報告された組合が2組合。

(1) 一時金(組合員数による加重平均)

一時金	2023回答(2023年7月31日最終)		昨年対比	2022回答(2022年7月31日最終)		
	集計組合員数	回答		集計組合員数	回答	
年間	月数	22組合 4,471人	3.83月	▲0.57月	42組合 8,586人	4.40月
	金額	13組合 1,421人	1,325,538円	172,949円	17組合 2,889人	1,152,589円
季別	月数	9組合 1,541人	1.96月	0.28月	7組合 1,136人	1.68月
	金額	19組合 5,897人	347,130円	84,653円	10組合 4,207人	262,477円